

## 全国高等学校家庭クラブ研究発表大会 徳島大会に向けて

7月29日(木)、30日(金)第69回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会WEB開催に向けて、発表データの動画撮影・収録を行いました。

研究チームのメッセージです。

3年間家庭クラブ委員として活動できて本当に良かったです。この活動でしか行えなかったことも多くあり、自分にとって良い経験になりました。委員長をやらせてもらいましたが、仲間のサポートなしでは、最後までやり切れなかったと思います。いろいろな方に支えてもらいながら、充実した活動ができました。

奥村 允智



3年間家庭クラブ委員として活動ができました。部活などで参加できないこともありましたが、仲間がカバーしてくれたおかげで最後までやりきることができました。期待できる後輩がいるので安心してしています。

河合 勇希

家庭クラブに所属し貴重な体験ができ、多くの知識を身に付けることができました。人前で発表したり、ディスカッションしたり、将来必要となる力をこの活動で得ることができました。メンバーと楽しく活動することができ、3年間家庭クラブ委員で活動できて良かったです。

田口 夢夏

私は、2年生から家庭クラブ研究チームに入りました。研究を通して、米粉の普及活動に携わり多くの事を学びました。全国大会に向けてPPスライドを作成したり、皆で案を出し合ったり、大変な面もあったけれど、人生において良い経験になったと考えています。2年間楽しく活動できました。

岡田 静音

### Think Globally Act Locally

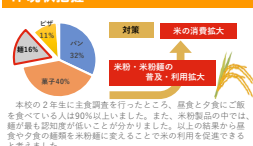
～米粉で守る！人・食・環境～ 岐阜県立園高等学校家庭クラブ

#### 題目設定の理由

岐阜県立園高等学校は1921創設の普通科高校です。90%以上の生徒が大学進学を目指し、進学や部活動に励んでいます。私たちが暮らす岐阜県南は豊かな自然に恵まれています。近年「住宅」や「商業施設」が建設され水田が減少しています。その一方で、水田の重要性を認識する出生率が低下し、西日本最高です。関中も最大の被害を受けましたが、水田によって被害が抑えられた地域もありました。これは水田が保水性が豊かで、洪水や土砂災害が抑えられたからだと考えられます。家庭クラブでは、水田を守り「米の消費拡大」を進めることで地域の文化や環境を守ることにつながると考えました。

#### 研究活動

##### 1. 現状把握



本校の2年生に食育調査を行ったところ、昼食と夕食にご飯を食べている人は90%以上でした。また、米粉製品の中では、餅が最も認知度が低いことがわかりました。以上の結果から昼食や夕食の麺類を米粉麺に変えることと米粉利用を促進できることとしました。

##### 2. 実践活動I

- 岐阜県立園高等学校と奥田水田や研究チームについて交流。
- 農業生産法人「PLUS」を視察。
- 「せきの未来・社会貢献プロジェクト」開市より認定。
- 「PLUS」代表の方や農業農村局の方からの講演会実施。
- 米粉クッキー作り調理実習会や米粉の活用活動。
- 米粉・米粉パスタ料理校内コンクールを開催。
- 米粉の活用促進～私たちができること～についてHRでディスカッションの実施。
- 産物直売所で試食会、レヒ配布とアンケート調査の実施。

##### 考察・これからの課題

活動を通して水田の多面的な働きと米粉の利用方法を学び、多くの方と協力できました。米の消費拡大は、水田の維持に不可欠で、自然環境の保全・持続可能な地域経済の発展、文化の継承など大きな成果を期待できます。また、食のダイバーシティを尊重し「誰もが健康、快適、安全に暮らすことができる持続可能な社会の実現」に貢献できます。これまで私たちが行ってきたことは「すべての生きものの幸せ」につながっていることに気づきました。今後は生産者の声を聞き、米粉の販売場所やレストランを増やし、アレルギー対応スイーツの開発や販売など米の消費拡大のための活動を行っています。開校から、差別や偏見のない「食のダイバーシティ」を米の魅力をともに発信していきます。

##### 3. 中間評価

これまでの活動を通して、校内での米粉認知度は高まりました。しかし、「校内での認知度が低い」「米粉の販路が分からない」といった課題も見えてきました。今後は、提供場所を増やし、多くの人に米粉のメリットを伝える活動を校外で行うことにしました。

##### 4. 実践活動II

- 活動を通して
- 校内で広まった
- 米粉利用のメリットを伝えよう
- 食料自給率の向上 小麦アレルギーへの対応食品
- 提供場所を増やすための活動
- 米粉クッキーを販売して消費を促進させよう
- 校外でも活動しよう

米粉認知度の再チェック  
校内コンクール入賞作品を地域の飲食店で提供し、来店者にレヒと食料自給率向上の啓発メッセージを配布  
小学生向けのオープンキャンパスで米粉パスタを提供  
市内の環境フェアでの広報活動  
岐阜県立園高等学校の授業  
海外の高校生と食に関する国際交流をし、校内コンクール米粉料理の同時開催を行った

今回の全国大会に向けての活動では、ポスターのデザインを担当しました。その中で、僕はいろいろな人に助けをもらいやり遂げることができました。今回の活動で助け合うことの大切さを学び、自分でも成長できたと思っています。

松原 光志

家庭クラブに入り初めての仕事として、発表内容を要約しポスターにまとめました。最初は不安でしたが、周りの皆さんがサポートしてくださり、無事に完成することができました。

渡邊 優太郎